

年会費引き落としについて

法人管理委員会 久保俊仁

いつも会務にご協力くださりましてありがとうございます。

8月5日は、令和4年6・7月会費の郵便自動引き落とし日となっています。

口座資金についてご準備下さいますようお願いいたします。

「(公的) 審査委員だよ Re:」 No.13

あはき療養費の料金改定について(令和4年6月～)
療養費に関する受領委任の取扱い一部改正について
療養費の取扱いに関する疑義解釈資料の一部改正について

令和4年6月施術分より、あはき療養費の料金が改定されましたので、お知らせいたします。尚、日々の患者一部負担金の一円未満は四捨五入となります。



1.



2.



3.



4.

- はり師、きゅう師及びあん摩・マッサージ・指圧師の施術に係る療養費の支給について(料金変更)
- 療養費に関する受領委任の取扱い一部改正について(様式変更)
- 療養費の取扱いに関する疑義解釈資料の一部改正について
- 一部負担金と申請書の請求額欄に違いが出る問題について

公益社団法人 大阪府鍼灸師会
令和4年度 第1回理事会 議事メモ

- 日 時 令和4年4月17日(日) 10時00分～
- 場 所 大阪府鍼灸師会館4階
- 司 会 理 事 久保俊仁
- 議 長 会 長 得本 誠
- 議事録作成人 理 事 廣橋久美子

出席理事：(会館) 得本誠 富永礼子 南治成 堀口正剛 久保俊仁

荒木善行 永澤至子 吉村春生 清藤直人

喜多伸治 森下輝弘 北川肇 三宅なつえ

丹波徹二(順不同)

出席監事：浜田暁 浅井和俊

欠席：柴山忠宏 丹波徹二 廣橋久美子

(次第)

(出欠確認)	
理事 16名	
会館出席数	13名
欠席数	3名
監事 2名	
出席数	2名

I. 開会の辞 副会長 南 治成

II. 挨拶 会 長 得本 誠

III. 報 告 正副会長活動報告・日鍼会活動報告・委員会報告

【正副会長活動報告】

得本会長より：4/7 大阪府議会維新から会の現状を聞かせてほしいとの依頼があった。コロナ対応や鍼灸業団についての質問があり堀口副会長と共に対応。

4/14 正副会長会議、4/15 監査会出席。

富永副会長より：4/4 森ノ宮医療大学入学式に出席。4/14、4/15 会長と同様。

堀口副会長より：3/26 第3回 JLCDAM(日本災害鍼灸マッサージ連絡協議会) 会議

4/9 豊中地域総会出席。4/14、4/15 会長と同様。

【日鍼会活動報告】

南副会長より：4/15 医療技術者団体協議会 臨時総会出席

趣意書・規約等曖昧な部分があり仕切り直しとなる

堀口副会長より：4/13 オンライン協議会があり、福岡の事故の件は全日学からリリースが出る予定

企業と国家資格を持つセラピストをオンラインで繋ぎ、生産性向上を図るバックテック社の「ポケットセラピスト」について、リアルの施術所を紹介したいという要望があり面会した。

【委員会報告】

■法人管理委員会(久保理事)

- 令和4年予算、行事予定について大阪府(認定等委員会)に報告
- 窃盗犯による会館破損について修繕済み
- 4/14 第1回正副会長会議 理事会に向けての討議
- 一泊研修会の日程 7/23-24 の予定

■法人管理委員会(財務)(北川理事)

- 3/25、4/2 財務作業
- 4/14 正副会長会議出席
- 4/16 監査終了

■青年委員会(清藤理事)

日鍼会「青年企画補助事業」が各師会の催しの補助をしてくれる。

令和4年度大鍼会では若手鍼灸師3名を招いての催しを企画中である。

■(吉村理事)

ケアマネ協会理事推薦の件、推薦書類が出ていないので対応願いたい。

定款の変更について

理事と常任理事の人数を増やす

■地域ケア推進委員会(永澤理事)

現時点での報告はなし

■編集情報化委員会(喜多理事)

- Fresh 4月号発刊、いかなごう No.132-134 まで配信完了
- 折鍼事故の記事について、ウェブサイトへの投稿を会員限定箇所へ変更済み

Contents

M-1

- 年会費引き落としについて
- 審査員だより
- 令和4年度 第一回理事会 議事メモ

M-2

- 民生労災委員会（森下理事）
- ・4/7 生保労災審査会・相談会

・4/14-15 国保連合会に出向

・4/16 監査会に出席し承認

- 普及啓発委員会（三宅理事）
- ・2/26 スポーツ鍼灸プロジェクト委員会の動画撮影のための打ち合わせ会議（ZOOM）

・3/26 同内容で資料作成

・4/3 動画撮影実施

動画コンテンツ作成の進具合についての確認と報告

- 研修委員会（荒木理事）
- ・3 /24 令和 4 年度第 1 回学術講習会の全日本鍼灸学会 C 講座認定申請

・3 /29 近畿医療学園教育課程編成会議

・3 /30 全日本鍼灸学会 C 講座認定の指定通知を受理

・4 /10 霊枢勉強会開催

・令和 3 年度大鍼会生涯研修・東洋療法研修試験財団単位集計

- WMG 研修会（丹波理事の代理で久保理事）
- ・日本財団助成金事業期間終了に伴い、収支報告書を作成中

事業予算 1,960,000 円（助成金額 1,570,000 円、本会負担 400,000 円）、2,054,261 円で報告中

遂行事業

- ① 11/28WMG 研修会
- ② 1/16 河内長野シティマラソンスポーツ鍼灸ボランティア活動（現場研修の位置づけ）
- ③ 3/13WMG 研修会
- ④ 配信動画作成 5 本

IV. 議 案

第 1 号議案 会員動態

得本会長：

- ・正会員入会申請：2 名
- ・準会員入会申請：3 名
- ・登録事項変更：1 名
- ・退会届：4 名
- ・休会届：1 名

上記について全会一致にて承認

第 2 号議案 令和 3 年度決算報告及び監査報告の件

北川理事：

- ・令和 3 年度財務諸表、その他資料参照しながらの報告。

- ①遊休財産は約 1140 万。公益事業は例年 1200 万円ほどなので問題なし
- ②収支相償は問題なし
- ③公益目的事業費率は 58.41％となり問題なし

上記、「公益法人として必要な 3 条件」を満たしているため決算内容は問題なし。

- ・平成 23 年～令和 3 年末（11 年分）収益と経費の推移を比較すると、H 23 年度に比べると経費を約 1,500 万円節約（修繕費除く）できているが、収益は約 1,000 万円減少している。先月 3 月の理事会では、当会の予算の最終確認と今年度の資金調達と設備投資の見込みを報告し承認も得たが、当会は収益の主な柱が会費収入である。毎年 1200 万円ほどの公益事業活動を行っているので収益として 2200 万円ほどあれば収支のバランスが良い。H28 年度当時の決算（会員 629 名）は収支のバランスが良かった。今後、目標として会員数 600 名以上の正会員を増やす必要がある。または会員が増えない場合は活動を圧縮するなどの対策が今後必要となる。

久保理事：4/17 監査会での報告をお願いします。

浜田監事：会長室にて監査を行い現金・通帳等適正な処理が行われ問題なしと確認した。

決算報告と財産目録の報告に対して、全会一致にて承認された。

第 3 号議案 令和 3 年度事業報告の件

久保理事：各委員長より提出された各事業報告をまとめ修正を加えた。内容についての確認・承認をいただきたい。
一部文面の修正を含め全会一致で承認。

第 4 号議案 令和 4 年度総会資料の件

久保理事：各委員長より提出されたデータを元に令和 4 年度総会資料をまとめたので確認・審議・承認をいただきたい。
一部文面の修正を含め、全会一致で承認。

第 5 号議案 入会パンフレット刷新の件

森下理事：欠席の柴山相互扶助委員長に変わり議案上程。

- 入会案内パンフレットの在庫が少なくなったのを機に刷新したい。入会に興味を持った鍼灸師に響くパンフレットを作成し例年に比して入会者の増加を図りたい。
- 入会のメリットやコピーなどを理事や若手の鍼灸師で創出していただきたい。

得本会長：まずは組織委員で叩き台を作成して、各研修や集まりがある際に披露して内容検討しては。
議案の方向性で進めていくということで、全会一致で承認。

第 6 号議案 河南地域 羽曳野市小児鍼・擦過鍼 体験会の件

- 大阪府民の健康増進と、「小児鍼・擦過鍼」の普及・啓蒙を目的として実施したい。「小児鍼」「擦過鍼」の認知度を高め、多くの人にその効果を実感していただく事で、以降の受診につながるきっかけにしたい。
- 全会一致で承認。

第 7 号議案 その他の件

1. 八尾地域で「百会の会」を立ち上げるに当たり、広報誌 Fresh で広告掲載したいとの希望があるので理事会で精査されたい。収益性のある会のお知らせを、公益の広報で載せて良いのか否か。（久保理事）
→参加の手続きなど大鍼会としては行わず直接開催者に連絡がいくようにして、各種ある中の一お知らせとして FreshM 版に載せる、ということで全会一致。

2. 令和 4 年に大鍼会は 60 周年の節目の年を迎える。（久保理事）
来春（令和 5 年 1 月 4 日）の新年互礼会と併せて周年記念式典を行いたい。
→全会一致で承認。

3. 日鍼会全国大会を近畿ブロックで受け、開催地を大阪にするのかについて審議されたい。（得本会長）
→近畿ブロック主催で誘致することに全会一致で承認。

4. 大鍼会開催の研修に参加したい、または大鍼会に入会したいという他都道府県の鍼灸師に対して、「A 会員」「B 会員」「賛助会員」「準会員」以外の会員枠を作るなどの対応が可能かどうかについて。（浜田監事）
→現状では賛助会員として参加が出来る。今後定款改正等に向けて慎重に審議すべき。

5. 提出書類についての確認（北川理事）

- 3 月、予算の承認、資金調達と設備投資の見込みについての承認済
- 4 月、決算の報告に対して財産目録も含め承認済
- 事業計画、監査の報告についても承認済

V. 閉会の辞 （吉村理事）

以上